いじめ事案の指導の流れ

岐阜市立精華中学校

【定期的な情報収集】
- 生徒と学級担任との二者懇談（随時）
- 生活記録の記述（随時）
- 生徒会主催の取組
  「スマイル集会」「スマイル宣言」「スマイル活動
- 生活向上アンケート→教育相談（年３回）
- 校内いじめ防止対策推進会議（年３回）
- 三者懇談（年２回）
- 学校評価（年１回）

【迅速な情報収集】
- 教師の目撃
- 学校職員からの訴え
- 本人からの訴え
- 関係機関からの情報
- 周りの生徒からの申し出
- 保護者，地域からの訴え

さ　最悪を想定して
し　慎重に
す　素早く
せ　誠意をもって
そ　組織的に対応する

いじめの疑いのある情報

情報共有

複数の職員へ
報告・相談

情報をつかんだ職員

学級担任
学年主任
主幹教諭
指導教諭
必要に応じて
校長に各自報告

いじめ対策監
生徒指導主事

校長　教頭

いじめ対策監
支援本部

直ちに
報告
（報告様式＆電話）

いじめ対策チームの組織
関係職員を招集
組織的対応（流れ，役割等）

情報元の生徒、周りにいた生徒
から聞き取り

被害者が所属する集団
から聞き取り

最優先で対応
（授業自習可）
複数人（２名以上）の
チームでの聞き取り
人手不足の場合，
別室待機（職員配置）

事実確認

共感的な聞き取り

情報集約･事実認定

校長　教頭　主幹教諭
いじめ対策監

被害者から
聞き取り

加害者から
聞き取り

支援本部　関係機関等

すり合わせをし
ながら何度でも

事実確認･全容把握

事実関係の概ね一致

家庭連絡Ⅰ

校長　教頭　主幹教諭　いじめ対策監

支援・指導

被害者への支援等

加害者への指導

個別の加害状況に応
じて指導内容は変わ
るが，意識に迫る指導
をする。（「行為」のみ
で終えない）

心に寄り添う
声かけ

校長　教頭　主幹教諭　いじめ対策監

生き方に
関わる指導

謝罪の会の設定

家庭連絡Ⅱ

学校管理下で
の事案について
謝罪　含

校長　教頭　主幹教諭　いじめ対策監

保護者の困り感
に寄り添う言葉

下校時間までに指導
が終わらない場合は
学担か学主が家庭へ
必ず連絡を入れる

被害者保護者へ

電話で概要説明
家庭訪問で指導の経緯
今後の指導方針

加害者保護者へ

電話で概要説明･来校依頼
学校で指導の経緯
今後の指導方針

発覚した日
のうちに
ここまでの
指導を基本とする

見届け

謝罪の会の設定（学校立ち会い原則）

支援本部への報告　関係機関との連携

継続的、組織的支援

継続的、組織的支援

- 本人への聞き取り
- 周りの子どもへの
  聞き取り
- 保護者への情報提
  供と聞き取り

校長、いじめ対策監、教頭、生徒指導主事、主幹教諭
学年主任、学級担任等による繰り返し見届け